

## 平成27年度

### 公益財団法人丹後地域地場産業振興センター事業計画

#### はじめに

平成26年度は、アベノミクスによるデフレ克服政策が引き続き断行されたものの、4月からの消費税引き上げ等の要因から消費が低迷し、厳しい経済環境で推移しました。特に地方においては、人口の減少、高齢化が進みつつあり、大都市圏との格差が問題となっています。

丹後地域においても厳しい経済環境に加え若年層の人口流出、雇用・就業機会の減少、正社員雇用の鈍化など問題が顕在化してきました。

このような状況の中、活力あるふるさとの再生に向け、関係機関・団体と連携協力し、雇用・創業機会の創出及び人材の育成、販路の開拓、一次産業者から三次産業者と協力した六次産業化事業を推進し、丹後地域産業の安定的な発展に寄与する所存です。

#### I 新商品・新技術開発事業（公益目的事業1）

##### 1 地域ものづくり支援事業

丹後・食の王国ビジネス連携推進会議（事務局当団）において生産者及び製造者からの要望を受け、関係機関・団体の協力の下、商品開発、販路開拓の支援事業を実施する。

##### 2 創業支援事業

京丹後市が進める絹ふるさと京丹後・創業支援事業を活用し、桑栽培、養蚕を新たに実施しようとするシルク関連製品・商品の製造・販売事業者、又はこれら事業と連携して桑栽培又は養蚕を実施使用とする市民・事業者を支援する。

#### II 人材育成事業（公益目的事業1）

伝統産業である織物業や基幹産業である機械金属業をはじめ、地域事業所・商店街等の維持・再生・発展を図るとともに、地域の特性を活かした未来指向

型の産業・ワークスタイルを創造し、新たな産業・事業所の創出を図り、雇用・就業機会の開発と就業を促進するため下記の人材育成事業を実施する。

1 ICT利活用地域人づくり事業

創業・起業及び技能の習得により就業を目指す方々を対象として、ECサイト構築講習を実施する。

また、ICT技術及び地域インフラを活用した新産業の育成、誘致等の創業を支援する。

2 蚕糸業人材育成派遣事業

新シルク技術を活用した産業創出を担う人材の育成を目的に、蚕種・養蚕業人材及び製糸業人材の育成、活用を図る。

### Ⅲ 需要開拓事業（公益目的事業1）

1 丹後ブランド商品認定事業

(1) Tango Good Goods 認定事業

事業開始以来17年目を迎えるTango Good Goods 認定事業を今年度も実施し、製造者の「ものづくり」を奨励・支援し、販路開拓の意欲高揚を図るとともに、丹後ブランド商品のコンセプト確立とそれに基づくブランドイメージの定着化を図り、流通及び需要の拡大・開拓を推進するとともに特定保健食品の普及により、商品表示及び陳列についても一層の厳格化が指導されており審査基準においても認定品としてのコンプライアンスはもとより、着色料、保存料等についても再度製造者の意識を高め、Tango Good Goods としての質的向上を図る。

また、認定品へのTango Good Goods ロゴシール貼付指導を推進し、地域ブランド商品として差別化を図る。

○Tango Good Goods 認定推進協議会開催

○Tango Good Goods 認定募集

○Tango Good Goods 審査会の開催

○平成27年度認定品のTango Good Goods 認定品カタログの作成（BtoB）とバイヤーへの配布

(2) 丹後ブランド商品の販売促進と見本市の開催

第17回目となる丹後ブランド産品見本市を開催し、丹後ブランド

認定商品を中心とした地場製品の地域内PR及び流通促進を図る。

また、Tango Good Goodsの商品流通を促進するためのPR展示を実施する。

## 2 京都丹後ブランド産品会の支援

Tango Good Goods認定事業者のなかから地域外へも、その販路を開拓する意欲のある事業者で発足した「京都丹後ブランド産品会」の活動を支援し、新商品開発、販路開拓等の事業を実施する。

## 3 地域特産品販路開拓事業

(1) 地場産品製造者の現状を把握し、販路開拓と地産都消をコンセプトに都市部等における販路を確保し、Tango Good Goods認定事業者へ販路を紹介するとともに、売れる商品の開発指導を行う。

(2) 丹後のええもん うまいもん展開催事業

京都丹後ブランド産品会を支援し、京都、大阪、名古屋等の大都市圏において丹後産品及び地域紹介を目的として、「丹後のええもん うまいもん展」を開催する。

また、地域自治体及び関係機関と連携し「ええもん うまいもん展」を冠した各種展示会を開催する。

舞鶴若狭道の全線開通により、時間的距離が大幅に短縮された中京圏を中心として全国へ地場産品及び地域のPRを積極的推進する。

(3) 丹後・食の王国ビジネス連携推進会議との連携

丹後地域の食品に関する事業者が連携して、流通の仕組みづくり、販路の拡大等に取り組む丹後・食の王国ビジネス連携推進会議の事務局となり各種事業に取り組む。

## 4 展示ギャラリー活用事業

地域で、ものづくりに励む企業、団体、個人等の作品発表の場として、1階展示ギャラリーを提供するとともに、センター及びセンター出展者会による情報発信の場として活用し、地域誘客の一助に資する。

## 5 染色体験・手織体験及び資料展示事業

観光客等が地域資源である丹後ちりめん及び織物に対する理解を深め、

地域産業に触れてもらう機会を創出するため、網野染織研究会「茜」の協力を得て体験、展示事業を実施し、情報発信及び誘客の強化を図る。

#### 6 C A T Vによる地場産品紹介事業

センターに設置されたC A T Vスタジオと連携し、地域内外へ地域資源（観光・産品・産業）を紹介する。

### IV 情報収集・提供事業（公益目的事業1）

#### 1 展示即売室即売動向情報収集分析提供事業

展示即売室における日々の顧客、商品、販売情報の収集に取り組み、販売データを分析、加工、提供し、アミティ情報の発行により各種情報をタイムリーに提供し、業者の経営に寄与するとともに、業者との意思疎通の一助に資する。

#### 2 ホームページによる地域資源発信事業

当センターオフィシャルホームページにおいて地域情報、センター情報、産品情報、地域企業情報等をホームページにより発信するとともにSNSツールを活用しセンターホームページへの誘導を図るとともにタイムリーな情報提供を行う。

また、地域自治体及び機関・団体等と連携し、地域資源情報等を積極的に交換し地域の魅力をPRする。

#### 3 アミティ丹後出展者会

アミティ丹後出展者会を随時開催し、即売室情報を基に商品展示方法、企画展開催などの情報交換、研修、事業を行う。

#### 4 物産展等の販売機会情報収集提供事業

各地域地場産センターや地域内外のイベントなど地域PRに有効な物産展情報を収集し、出展意欲のある企業へ情報提供を実施し地域PRの機会を提供する。

## **V 地場産品展示普及支援事業（公益目的事業1）**

### **1 地場産品常設展示**

当センターの重要な機能及び事業の柱の一つである地場産品のPRを目指す常設展示即売事業は、地域産品の総合展示場として「丹後ちりめん」をはじめ地場産品約1700品目に及ぶ製品を展示している。

来館者の注目も高く、観光関連業者からの紹介も年々増加しており、地域の観光資源としての機能を持ちつつあり、今後も年間を通して丹後を訪れる観光客をはじめ地域内外へも取扱品情報を発信するなど幅広く宣伝・啓発し、販路開拓とともに消費者ニーズの把握による需要拡大に努める。

### **2 丹後産品情報発信事業**

コンシューマー向けカタログ（中元・歳暮・通年の3種）の作成配布、ショッピングモールの運営を行い、丹後産品を全国に向け広く周知する。

（1）エンドユーザーへの丹後産品のPR、新たな丹後ファン獲得を目指し、近畿地場産センターとの連携によるショッピングモールをポータルサイトとして、ECサイト運営を引き続き実施する。

（2）上記ショッピングモールと連動し、歳暮及び中元期の通信販売カタログの作成と配布、両期間以外の通年カタログの配布を行う。

## **VI 丹後ブランドチャレンジショップ運営事業（公益目的事業1）**

### **1 丹後ブランドチャレンジショップ運営事業**

大都市圏での丹後情報の発信、地場産品PRを推進することを目的とし、京都市内に開設したホッと丹後について、将来的な民間への移行を視野に入れ引き続き運營業務を継続する。

### **2 販路開拓・PR事業**

ホッと丹後を拠点として、宮津市、京丹後市、与謝野町との連携により、各市町の特産、地域PRを目的としてチャレンジショップを情報発信の拠点として、活用・展開する。

## **VII 丹後産品集積活性化事業**

## 1 ICT人材育成・活用による丹後産品集積活性化事業

平成22年度に整備した丹後産品集積活性化システムを活用し、丹後産品の集積と販路開拓を引き続き実施していく。

丹後産品を広く全国に販売して行くことを目的とした上記事業の円滑な推進を図るため、平成26年度において中核を担う幹部職員の育成を行った。これら育成人材を有効に活用し、農産物を中心に地域産品を広く販売して行くため、農業者を中心に設立された丹後王国「食のみやこ」を運営主体として、当団が有するシステムを活用し、民間主導での事業の取り組みを実施する。

## **VIII 会館提供・コミュニティー事業（収益事業1）**

### 1 会場提供事業

センター施設を地域住民、企業、団体等の会議、研修会、展示会等に貸し出し、地域コミュニティーの場として地域活性化の一助に資する。

## **IX 誘客販売事業（収益事業2）**

### 1 販売事業

来館者等の利便に資するため、土産品としてのキーホルダー等の販売を行う。

### 2 たんご朝市の開催

たんご朝市は、開設13年を迎え、地域住民・観光客等から好評を得ている。朝市会館建設による毎日開催の要望があるものの、今年度は、引き続き前年同様の開催方法とし、生産者が自身の産物を直接、エンドユーザーに販売する方式で運営することとし、朝市の会場を提供する。

## **X 管理事業**

### 1 理事会・評議員会の開催

センターの適正・円滑な運営を図るため、理事会・評議員会を開催する。

#### (1) 定時理事会

| 開催予定    | 主な審議内容            |
|---------|-------------------|
| 平成27年5月 | 平成26年度事業報告・決算報告ほか |
| 平成28年3月 | 平成28年度事業計画案・予算ほか  |

(2) 定時評議員会

| 開催予定    | 主な審議内容                              |
|---------|-------------------------------------|
| 平成27年6月 | 平成25年度事業報告・決算報告<br>理事の選任<br>監事の選任ほか |